



令和2年4月から、米田幼稚園と米田保育園が一体化し、米田こども園としてスタートしました。幼稚園舎の改装・増築も完了し、引越しも済んで、保育園舎の解体工事が始まっています。保育園舎は昭和48年頃に建てられたそうです。この園舎でおばあちゃんの代から何世代にもわたって通っていたという方もいらっしゃると思います。

そこで、思い出深い園舎の解体前に「ありがとう」の気持ちを込めて、3歳、4歳、5歳児クラスのみんなで園舎にお絵描きをしました。2日間かけて描いた絵がこちらです。



絵だけではなく「ありがとう」の文字があちこちで見られました。

足洗い場に描かれた【虹】と【くすのき】の絵は、大きさとカラフルな色使いが特に印象に残りました。「ここにかいていい?」「ここも?いいの~?」と最初は戸惑っていた子どもたちも描きはじめるようになって、どんどん描いていたそうです。

普段は描けないような窓や壁に描くお絵描きは、子どもたちにとって貴重な体験になったことと思います。

絵に描かれていたように、旧米田保育園の園庭には、ひときわ目を引く大きなシンボルツリーの「くすのき」が立っています。幹のたくましさに、初めて見たときは私達も圧倒されました。園舎と同じく、長い歴史が感じられます。

「くすのき」はそのまま保存され、これからも子どもたちを見守り、共に成長していきます。



また、在園児や保護者の方だけでなく、卒園児も最後のお別れに園舎を見に来てくれたそうです。時と共に建物や環境は変化していきますが、旧米田保育園で一緒に過ごしたお友達、先生との楽しい日々をいつまでも忘れず、素敵な思い出として子どもたちの心に残ってほしいと思います。工事が完了したら、きれいに整備された園庭や駐車場、新園舎の様子をお伝えしたいと思いますので、もう暫くお待ちください☆